



～水がささえる豊かな社会～ 事業のあらまし

パンフレット
QRコード



みず し げん き こう
独立行政法人 水資源機構

目次

ご挨拶 2

1. 「水」で日本を支える水資源機構 3

- (1) 水を安定的に利用できるように - 水資源開発公団の設立 -
- (2) 50年以上にわたって社会を支えています - 水資源開発公団発足当時の事業紹介 -
- (3) 水資源機構設立までのあゆみ
- (4) 水資源機構の事業
- (5) 水資源開発の現状（シェア率）
- (6) 水資源機構の役割

2. 水資源機構のしごと 9

- (1) 水が届くまで
- (2) 安全で良質な水の提供
- (3) 洪水被害の防止・軽減と危機管理対応
- (4) 計画的で的確な施設の整備
- (5) 環境保全への取組
- (6) 新技術やDXへの取組
- (7) 国内外への技術支援
- (8) 適切な業務運営
- (9) 地域振興と広報活動
- (10) 機構の事業に要する費用負担の仕組み

水資源機構事業トピックス

3. 水資源機構の組織 25

水資源機構の 経営理念

安全で良質な水を安定して安くお届けする

水資源機構は、国民生活・経済にとって特に重要な水に携わる政策実施機関として、安全で良質な水を安定して安くお届けするとともに、洪水の氾濫被害から地域を守り、安全で豊かな社会づくりに貢献します。

気候変動による異常渇水・異常洪水の発生、地震等による大規模災害の発生、施設老朽化の進行など、近年顕在化し増大しつつある水に関するリスクに対し、水のプロ集団の持つ技術力を活かして、的確に課題解決を図ります。

※表紙写真

1 段目左から：矢木沢ダム、利根大堰、施設見学会(川上ダム)

2 段目左から：豊川用水二期併設水路工事（縦坑、トンネル工事）、堤体点検(下久保ダム)、筑後大堰

3 段目左から：小石原川ダム、調節堰操作(香川用水)

4 段目左から：早明浦ダム再生事業の工事状況

「水のプロ集団」として国民の期待に応えてまいります



独立行政法人水資源機構

理事長 かな お けん じ
金 尾 健 司

水資源機構は、ダムなどの水源施設から水路ネットワークまでを一体的、広域的に管理し、国民生活や社会経済活動に欠かせない水の安定供給と洪水から国民の生命と財産を守るという重要な使命を担う組織です。

前身である水資源開発公団時代から60年を超える長きにわたり、我が国の全人口の半分以上の方々の生活に関わる7水系で水資源開発施設を建設し、その管理を行い、首都圏、中部圏、近畿圏などの大都市圏に水を安定的に供給することを通じ、我が国の国民生活の向上と産業経済の発展に寄与するとともに、災害対策基本法に基づく指定公共機関として、洪水や渇水に対する被災地への支援活動も行ってまいりました。

昨今は、気候変動による渇水や異常洪水などの気象災害リスクの高まりへの対応、カーボンニュートラルといった地球温暖化への対応、大規模地震の切迫、待ったなしの老朽化対策など、水資源機構が担う使命やその役割を果たすため、諸課題への対応が厳しさを増しています。

こうした諸課題にしっかり対応すべく、業務を効率化し、培ってきた技術を維持向上させ「水のプロ集団」としての人財の育成と研鑽を重ねることで、組織力を向上することを通じて、引き続き水資源開発施設の適切な管理・建設に努め、社会に貢献してまいります。